

iReport 実践ガイド Version 1.0

お待たせしました、世界No.1のJavaレポートジェネレーターの実践ガイド
日本語版販売開始！



世界中で最も使用されているオープンソースの Java レポートライブラリーである JasperReports のオーサリングツールである iReport。この iReport のすべてを、iReportの開発者が実践的な見地から、余すところなく使用法を解説した画期的なマニュアル。執筆は、iReport プロジェクトファウンダー兼アーキテクトのGiulio Toffoli。ベースとなる JasperReports の基本コンセプトから、レポート構造、レポートエレメント、フィールド・変数・パラメーターのハンドリング方法、フォント、サブレポート、データソース、Flash チャート、リスト、テーブル、バーコード、サブデータセット、クロス集計テーブルに至るまで詳細に解説。ソースコードの紹介も豊富になされています。レポートを新たな開発分野と見定める Java エンジニア必見の充実した内容が満載です。
ビジネス・インテリジェンスとしての分析レポートから日本の帳票スタイルのレポートまでをカバー、必見です。

・ 基本的なレポート開発から Flash チャートまで幅広く解説

ReportUltimate 目次	
目次	
第1章	はじめに 8
1.1	iReport の機能..... 8
1.2	iReport コミュニティ..... 8
1.3	JasperReports 商用ライセンス..... 8
1.4	本書で使用するコード..... 8
第2章	スタートガイド 8
2.1	プラットフォームの要件..... 8
2.2	ダウンロード..... 8
2.3	開発バージョン..... 8
2.4	iReport のコンパイル..... 8
2.5	iReport のインストール..... 8
2.6	Windows インストーラー..... 8
2.7	Mac OSX への iReport インストール..... 8
2.8	最初の iReport 実行..... 8
2.9	JDBC 接続の作成..... 8
2.10	最初のレポート作成..... 8
2.10.1	サンプルデータベースの使用..... 8
2.10.2	レポートウィザードの使用..... 8
第3章	JasperReports の基本概念 8
3.1	レポートのライフサイクル..... 8
3.2	JRML ソースと JASPER ファイル..... 8
3.3	データソースと印刷形式..... 8
3.4	バージョン間の互換性..... 8
3.5	式..... 8
3.5.1	式の型..... 8
3.5.2	式演算子とオブジェクトノード..... 8
3.5.3	式における if-else 構成の使用..... 8
3.6	式記述言語としての Java の使用..... 8
3.7	式記述言語としての Groovy の使用..... 8
3.8	式記述言語としての JavaScript の使用..... 8
3.9	iReport における JasperReports 拡張機能の使用..... 8

ReportUltimate 目次	
3.10	簡単なプログラム..... 8
第4章	レポートの構造 8
4.1	バンド..... 8
4.1.1	レポートのプロパティ..... 8
4.1.2	列..... 8
4.1.3	高度なレポートオプション..... 8
4.2	バンドの扱い..... 8
4.2.1	バンドの高さ..... 8
4.2.2	出力決定式..... 8
4.2.3	分割可能と分割種類..... 8
4.3	まとめ..... 8
第5章	レポートエレメント 8
5.1	エレメントの扱い..... 8
5.1.1	フォーマットツール..... 8
5.1.2	Report Inspector によるエレメント管理..... 8
5.1.3	エレメントの基本属性..... 8
5.1.4	エレメントのカスタムプロパティ..... 8
5.1.5	グラフィックエレメント..... 8
5.2	イメージの扱い..... 8
5.2.1	バンドと外枠..... 8
5.2.3	イメージの動的作成..... 8
5.3	テキストの扱い..... 8
5.3.1	静的テキスト..... 8
5.3.2	テキストフィールド..... 8
5.4	その他のエレメント..... 8
5.4.1	サブレポート..... 8
5.4.2	フレーム..... 8
5.4.3	チャート..... 8
5.4.4	クロス集計テーブル..... 8
5.4.5	ページおよび列の区切り..... 8
5.5	カスタムコンポーネントと汎用エレメントの追加..... 8
5.6	アンカー..... 8
5.6.1	ハイパーリンクの種類..... 8
5.6.2	ハイパーリンクのパラメーター..... 8
5.6.3	ハイパーリンクのツールヒント..... 8
第6章	フィールド、パラメーターおよび変数 8
6.1	フィールドの扱い..... 8
6.1.1	SQL クエリーからのフィールド登録..... 8
6.1.2	SQL クエリーデザイナーへのアクセス..... 8

・ 解りやすい画面での説明

Figure 5.6 Element not correctly positioned

選択ツールを使ってエレメントを矩形で囲むことで複数のエレメントを同時選択することができます。

選択対象のエレメントが選択範囲に含まれていなければならないか、一部でも構わないかは、矩形の作成方向によって異なります。

Figure 5.7 Selection left to right **Figure 5.8 Only elements fully contained in the selected area are selected**

・ 豊富なサンプルコード

iReport User's Guide

JasperReports は驚くべき方法で編集と拡張を可能にするので、プログラミング言語の知識を何も知らない人にも使ってもらえるのが特徴です。また、実行時には 1 ステップずつ解釈されるのではなく、Java のバイトコードが生成されるという大きな特徴です。結果として、JSP と遜色のないパフォーマンスを得ることができるのです。

3.9 iReport における JasperReports 拡張機能の使用

JasperReports はいくつかの方法で編集と拡張をすることができます。コンポーネント、フォント、カリエーゼビキータ、チャートテーマなどの 拡張機能は通常 JAR にパッケージされています。iReport ではこの拡張機能を使うには、必要な JAR を iReport のクラスパスに追加すればそれで完了です。iReport のクラスパスは静的および再ロード可能なパスから構成されています。機能拡張は静的パスに配置します。一方、国々のディスクリプターや特別な再ロードメカニズムが必要なオブジェクト（スクリプトレットやカスタムデータソースなど）は再ロード可能なパスで構いません。

3.10 簡単なプログラム

Jasper ファイルから PDF ファイルを作成する簡単なプログラムを提示して、JasperReports の説明が終わることにしましょう。このプログラムで使用する `JasperPrintDataSource` というデータソースは、フィールドのないコードを複製するためのユーティリティデータソースです。コードサンプルで参照されている `test.jasper` は、**コードサンプル 1-1** で示したコードをコンパイルしたものです。

コードサンプル 3-2 JasperPrintTest

```

import net.sf.jasperreports.engine.*;
import net.sf.jasperreports.engine.export.*;
import java.util.*;

public class JasperTest
{
    public static void main(String[] args)
    {
        String fileName = "dev/examples/test.jasper";
        String outFileBase = "dev/examples/test.pdf";
        HashMap hm = new HashMap();

        try
        {
            JasperPrint print = JasperFillManager.fillReport(
                fileName,
                hm,
                new JREmptyDataSource());

            JRExporter exporter =
                new net.sf.jasperreports.engine.export.JRPdfExporter();

            exporter.setParameter(
                JRExporterParameter.OUTPUT_FILE_NAME,
                outFileBase);
            exporter.setParameter(
                JRExporterParameter.JASPER_PRINT, print);
        }
    }
}

```

体裁：PDF (17 MB) (メールまたは宅ふあいる便にて送付します)

価格：5,000円(税込み)

購入方法：下記口座に代金入金後、documents@workbrainjapan.com 宛てに
商品送付先情報(メールアドレス)をご連絡ください。

振込口座： 銀行名： 三井住友銀行
支店名： 赤坂支店(店番号:825)
口座番号： 普通 8940683
名義人： ワークブレイン・ジャパン株式会社

Jaspersoft についてのお問い合わせは

本カタログについて、もしくは Jaspersoft に関するお問い合わせは、以下の連絡先にお問い合わせください。

<p>Jaspersoft Headquarters 539 Bryant Street, Suite 100 San Francisco, California 94107, USA Phone: 888.399.2199 or 415.348.2380 Web: www.jaspersoft.com</p>	<p>Jaspersoft Japan: ワークブレイン・ジャパン株式会社 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番21号 ディアシティ赤坂西館306 TEL: 03-6277-6865 FAX: 03-6277-6970 Email: documents@workbrainjapan.com Web: http://jaspersoft.biz</p>	<p>販売代理店</p>
---	--	--------------